

事務事業評価表

○基礎情報

課名		保健企画課		作成責任者		常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	23	あらゆる健康危機から地域住民を守る		谷久保 康平		管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
						1 人	5 人	0 人	0 人	0 人	6.00 人	912 時間	15.2 時間

1 施策指標と実績 (Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
地域保健・医療の人材育成	平均参加人数 53人/回 開催回数2～3回	平均参加人数 50人/回 開催回数2回		平均参加人数 32人/回 開催回数2回	平均参加人数34人/回 開催回数2回
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	保健所間の連絡体制の充実
2	健康危機管理体制の整備・充実
3	保健、医療に携わる人材の育成
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね (80%) 達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね (80%) 達成し、成果は今後見込める  
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
Z 未着手事業 (計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった (実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績 (平成30年度)

事務事業の取組結果と成果 (効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H29予算(円) H29決算(円)	H30予算(円) H30決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生ま (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止		
1	新型インフルエンザ対策事業	2	0.42	一般	1,103,000 818,969	918,000 556,666	新型インフルエンザの発生に備えるため、関係機関や庁内各課と訓練を実施し、有事の体制や必要な対策を確認及び協議し、医療体制の構築が図られた。	新型インフルエンザ対応訓練の参加・実施	政府合同訓練の参加・市訓練の実施	政府合同訓練の参加市訓練の実施	S	変動なし				
2	糖尿病地域連携クリティカルパス推進事業	1	0.59	一般	0 0	0 0	茅ヶ崎・寒川地区における医療機関、医療関係者などで構成される会議を実施し、連携促進に向けた糖尿病連携手帳の普及にむけたチラシを作成することにより、地域の医療機関等へ連携手帳活用の意識向上に寄与した。	推進会議の開催	2回	2回	S	変動なし				
3	試験検査(一般依頼)事業	1	0.44	一般	2,275,990 527,770	2,086,000 496,510	住民及び法人から検体の試験検査依頼を受けて、神奈川県衛生研究所に検査依頼を行った。 検体の種類: 飲料水、ふん便、食品、プール水	受付検体数(飲料水検査)	100検体	44検体	E	変動なし				
4	保健所機能分析・評価及び運営のあり方に関する検討事業	1	0.42	一般	0 0	0 0	関係機関、庁内各課との調整や庁内関係課会議などを通し、保健所機能の分析・運営のあり方を検討した。また、市保健所における、平成29年度の取組実績及び30年度の主な取り組みについて、議会等に説明を行った。	事業の進ちょく状況	保健所機能の分析・運営のあり方検討	保健所機能の分析運営のあり方検討取組実績の報告	S	変動なし				

5	石綿健康被害救済推進事業	2	0.11	一般	0	0	茅ヶ崎・寒川地区における石綿による健康被害を受けた方や遺族に対し、救済制度の相談、説明及び申請受理を行うことで、制度活用の促進に寄与した。	相談回数	年5回	年12回(相談人数8人)	S	変動なし		
6	禁煙サポート推進事業	1	0.36	一般	0	0	管内における小中高校や企業にて喫煙防止教育や禁煙相談等を行い、タバコの害に対する理解を促すことや、喫煙者に対して禁煙への意欲を高めることにつながった。	外部への普及啓発の回数	年5回	年6回	S	変動なし		
7	医師臨床研修事業	3	0.20	一般	0	0	臨床研修病院又は大学病院に勤務する医師を、医師法に規定する医師臨床研修の協力施設として、茅ヶ崎市保健所において「地域保健」研修として受け入れ実施し、保健・医療に携わる専門職を目指す人材の育成支援に寄与した。	医師臨床研修の受け入れ人数	年6人	年10人	S	変動なし		
8	保健師・管理栄養士等実習支援事業	3	0.29	一般	0	0	看護師学生実習2校12名、保健師学生実習2校6名、管理栄養士学生実習3校15名の受け入れを実施し、保健・医療に携わる専門職を目指す人材の育成支援に寄与した。	学生実習の受け入れ人数	30人	33人	S	変動なし		
合計					H30予算(円)	3,004,000								
					H30決算(円)	1,053,176								

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析 (Check) / 今後の展望 (Action)

E評価とした「試験検査（一般依頼）事業」については、30年度業務棚卸し評価事業として位置づけており、指標を達成できず、成果も見込めないため、E評価とした。

施策指標の「地域保健・医療の人材育成」では、管内の専門職向けに「メンタルヘルス」と「災害時支援」をテーマとした保健衛生研修を2回開催した。目標参加人数には届かなかったが、それぞれの専門職で関係するテーマを取り上げることで、各々の意識向上につなぐことができた。

職員の時間外勤務は、総時間912時間、一人当たりの月平均15.2時間であり、前年度と比較して総時間は467時間減少、一人当たりの月平均は7.7時間減少することができた。平成29年度の保健所移行時から保健所運営が軌道に乗ってきたことや、働き方の見直し施策を進めたことにより、昨年度に比べて時間外の減少に繋がったと考えられる。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

-	-	-
---	---	---

No.	事務事業(検討事業がない場合は - )	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-----	---------------------	---------------------------------

6 働きかたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

会議等において、資料の準備は必要最低限とし、また、極力終わりの目安の時間を全員の共通認識とするなどの工夫を行った。また、所長、副所長のスケジュールを所内で共通とすることにより、計画的かつ効率的な事業実施や休暇の取得に繋がるものとなった。